



りゅうぎん経営説明会

平成21年3月期



第17回りゅうぎん紅型デザインコンテスト 技術賞
「花咲く海」比嘉 敏子

. 経済環境

国内経済	1
県内景気動向	2
観光	3
建設	4

. 21年3月期決算の概況

21年3月期決算概況	5
21年3月期決算概況	6
コア業務純益	7
貸出金	8
預金・預かり資産	9
経費	10
不良債権処理額	11

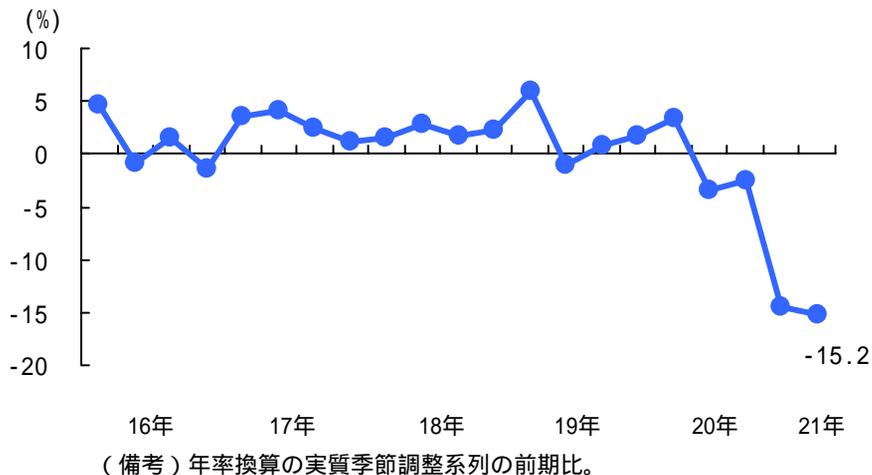
開示債権	12
有価証券関係損益	13
当期純利益	14
自己資本比率	15
22年3月期業績の見通し	16

. 中期経営計画

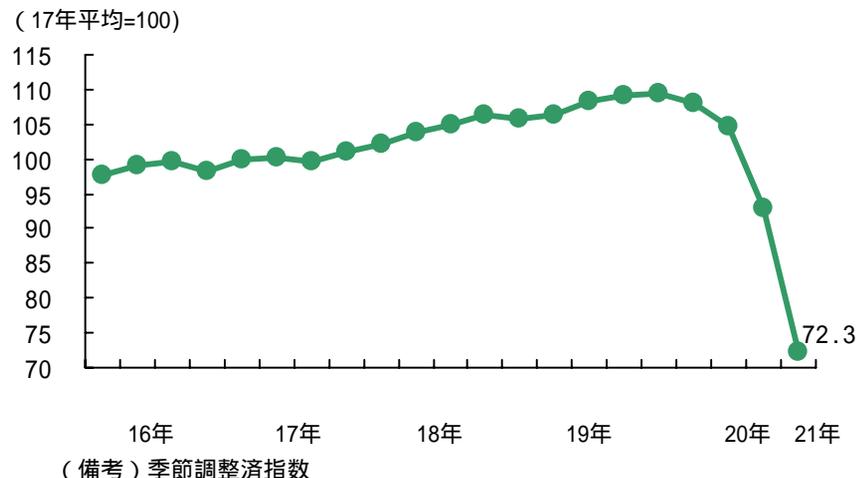
中期経営計画 ” CHALLENGE51 ”	17
顧客基盤の一層の拡大	18
顧客基盤の一層の拡大	19
新金融サービスの拡大・強化	20
チャネル革命	21

20年9月のリーマンショック以降、急速に悪化

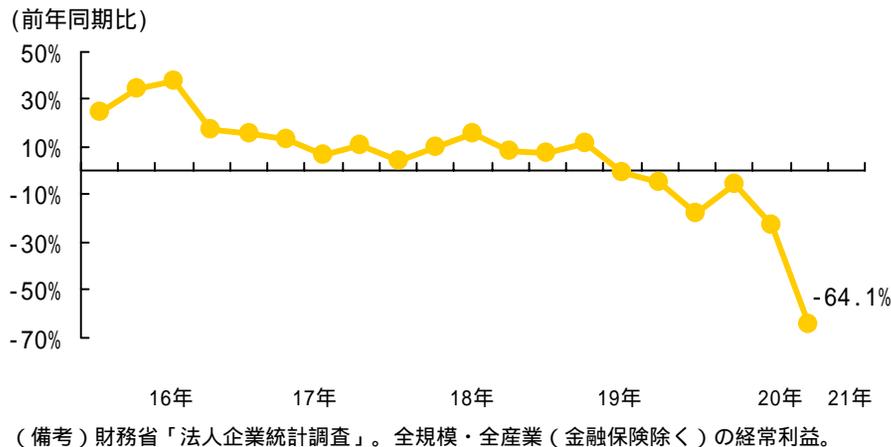
GDPの推移



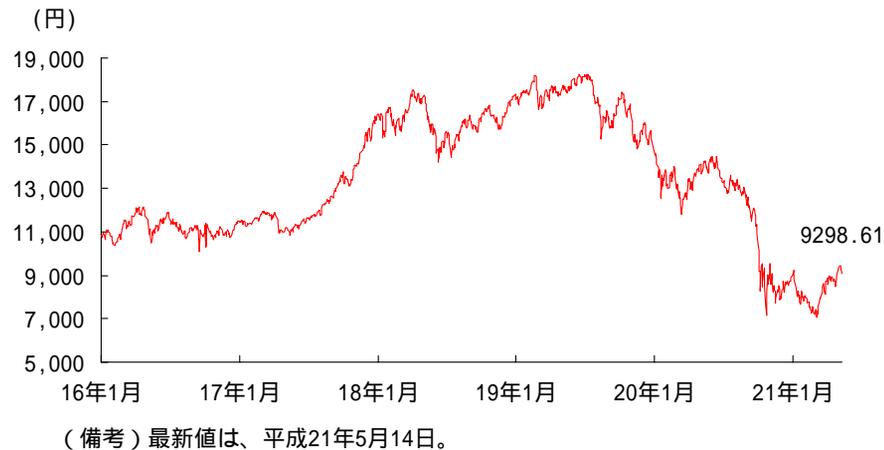
鉱工業生産指数の推移



企業収益の推移



日経平均株価の推移

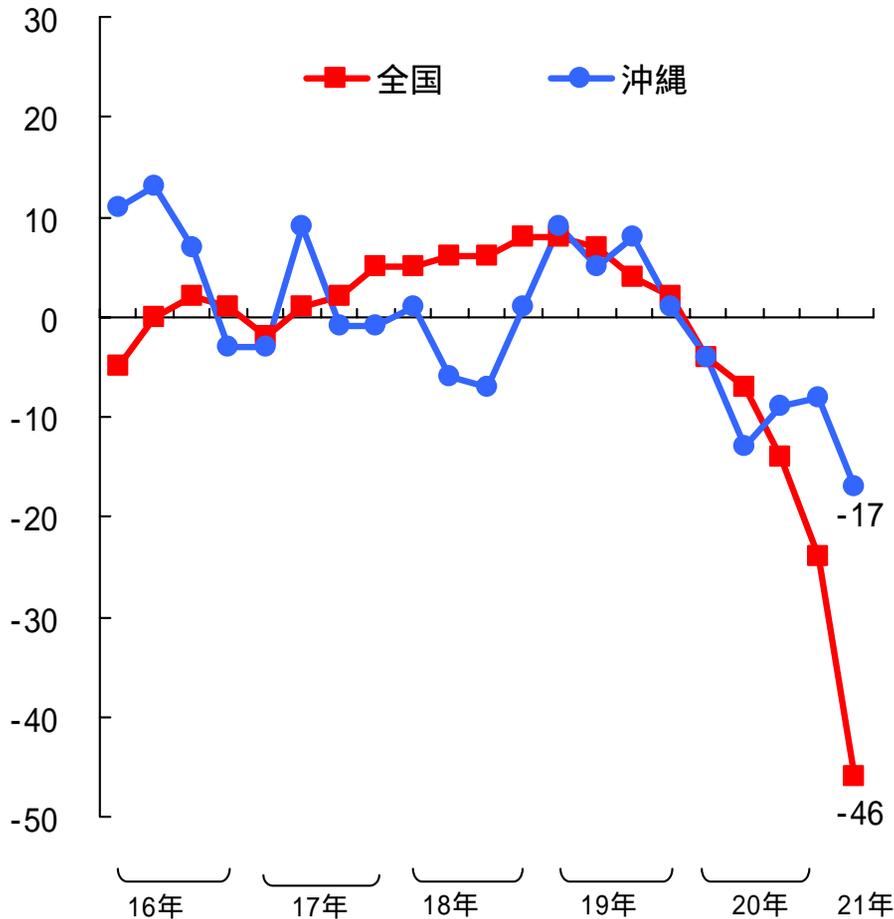


県内景気動向

県内景気は後退しつつある

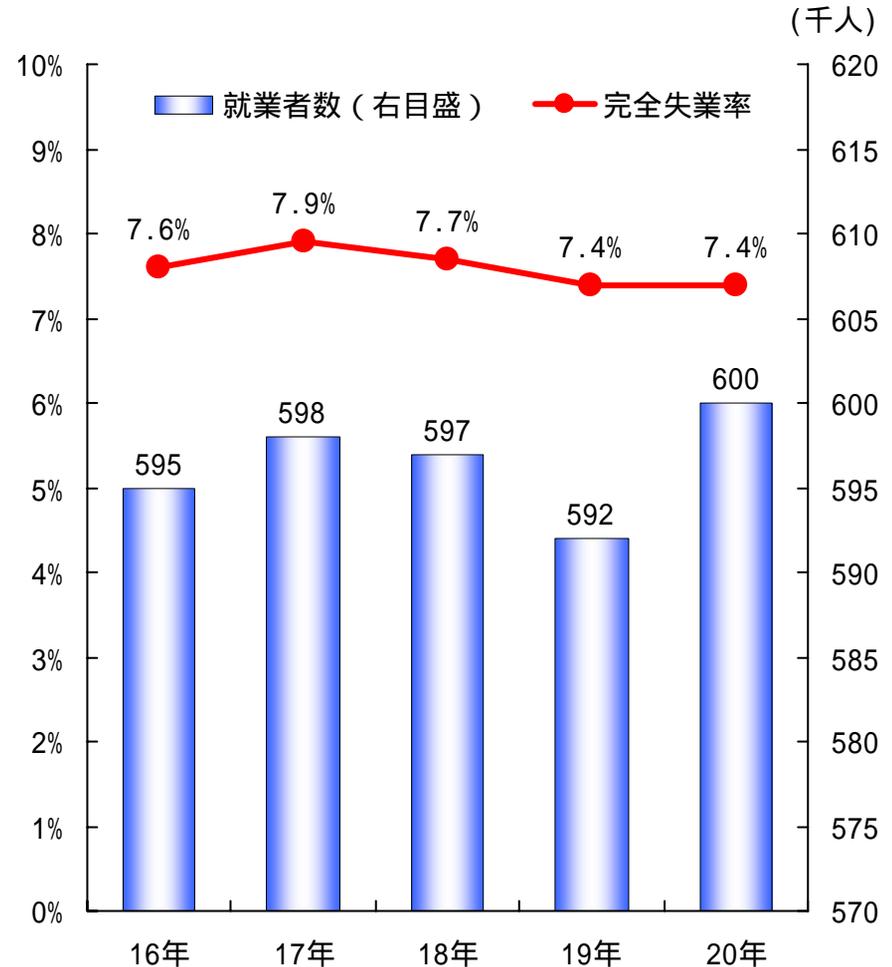
日銀短観

(業況判断DI：良い - 悪い)



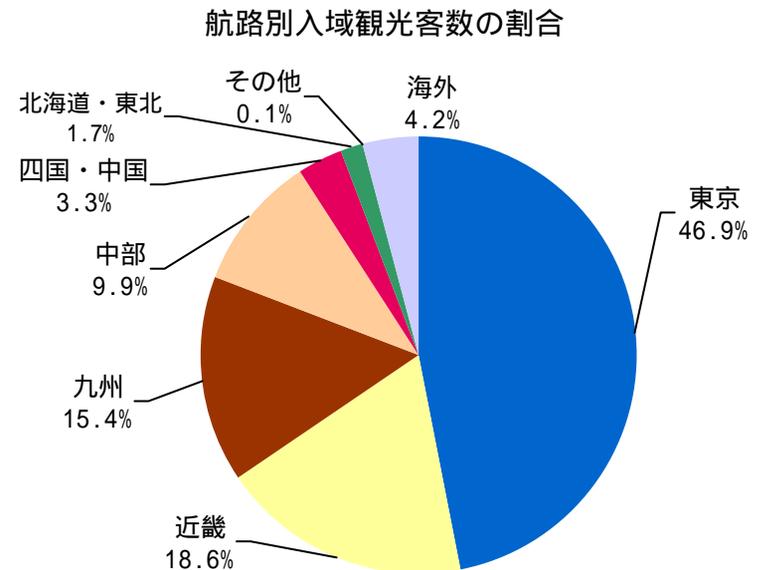
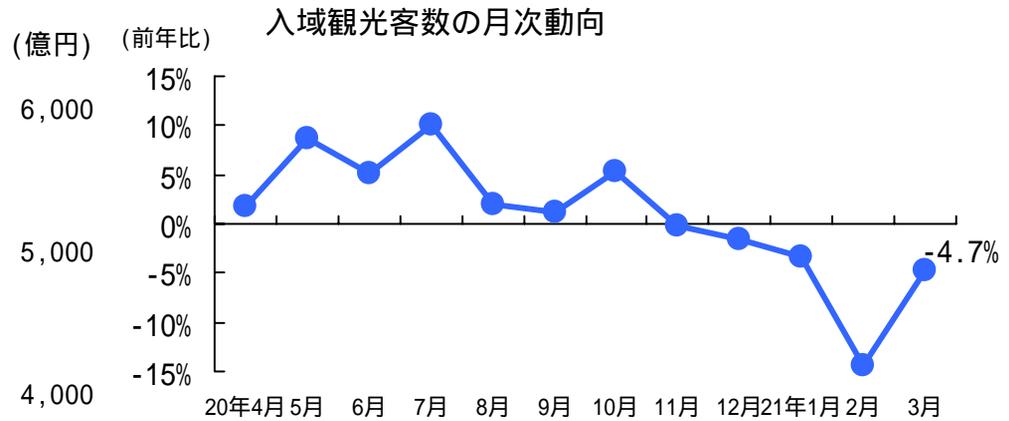
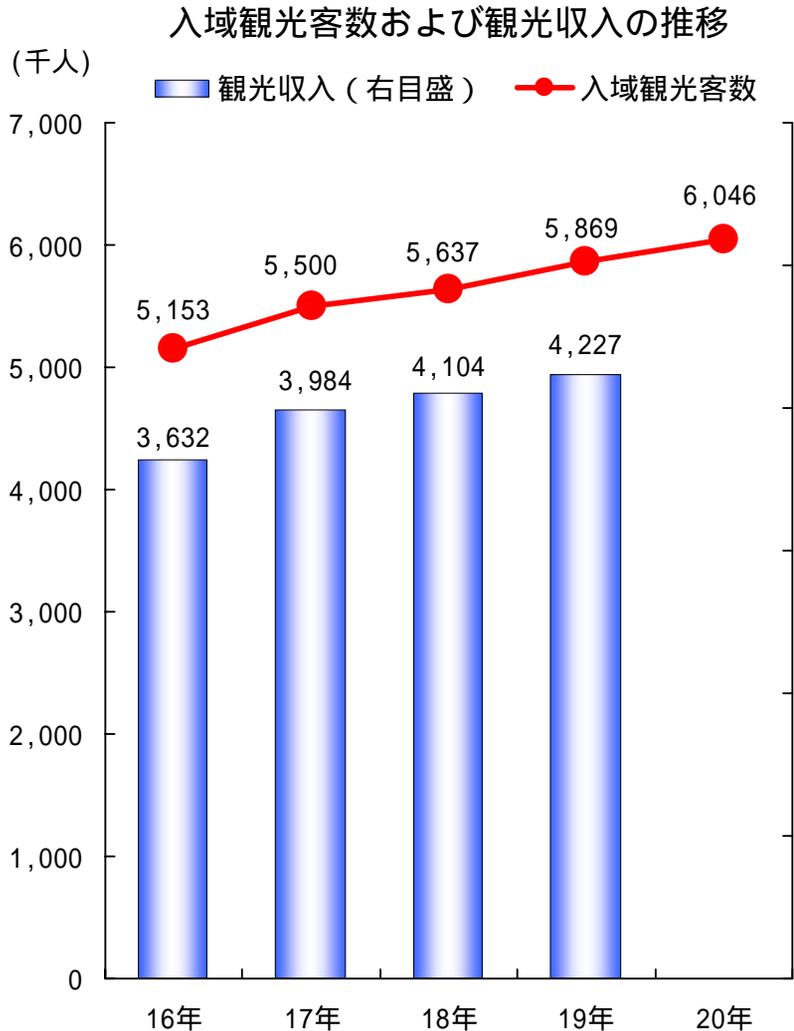
(備考) 19年3月調査より対象企業が見直されたため、それ以前とは不連続。

失業率の推移



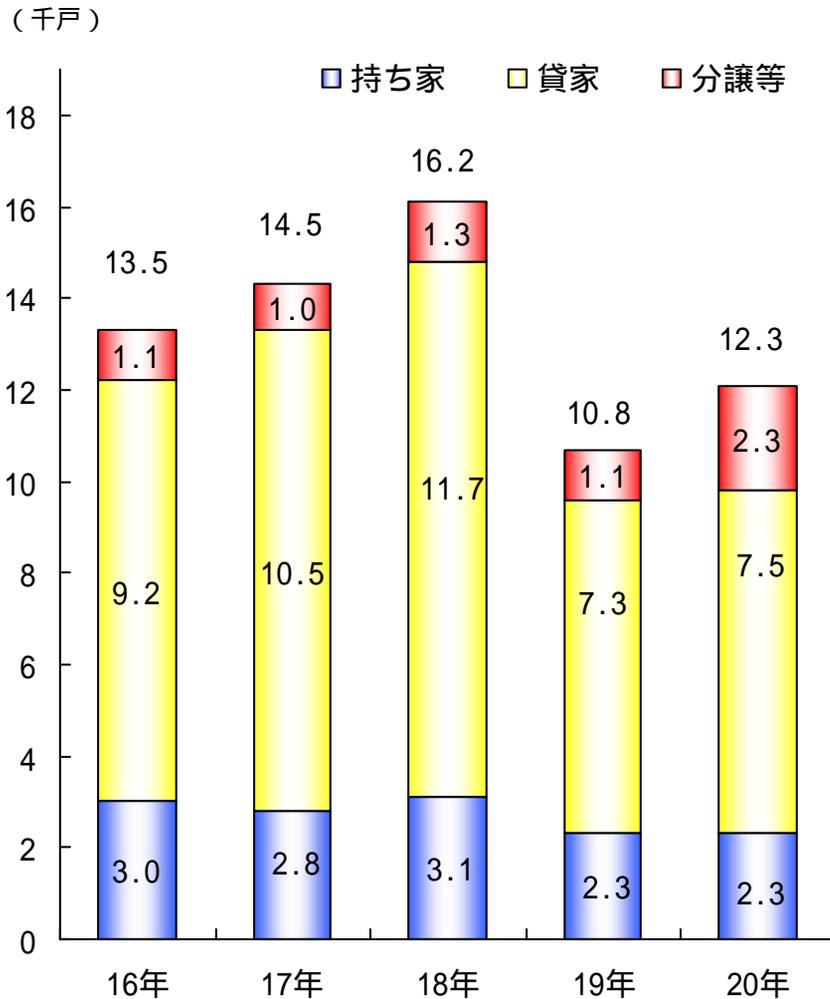
(備考) 各年の平均値。

入域観光客数は足元前年を下回って推移

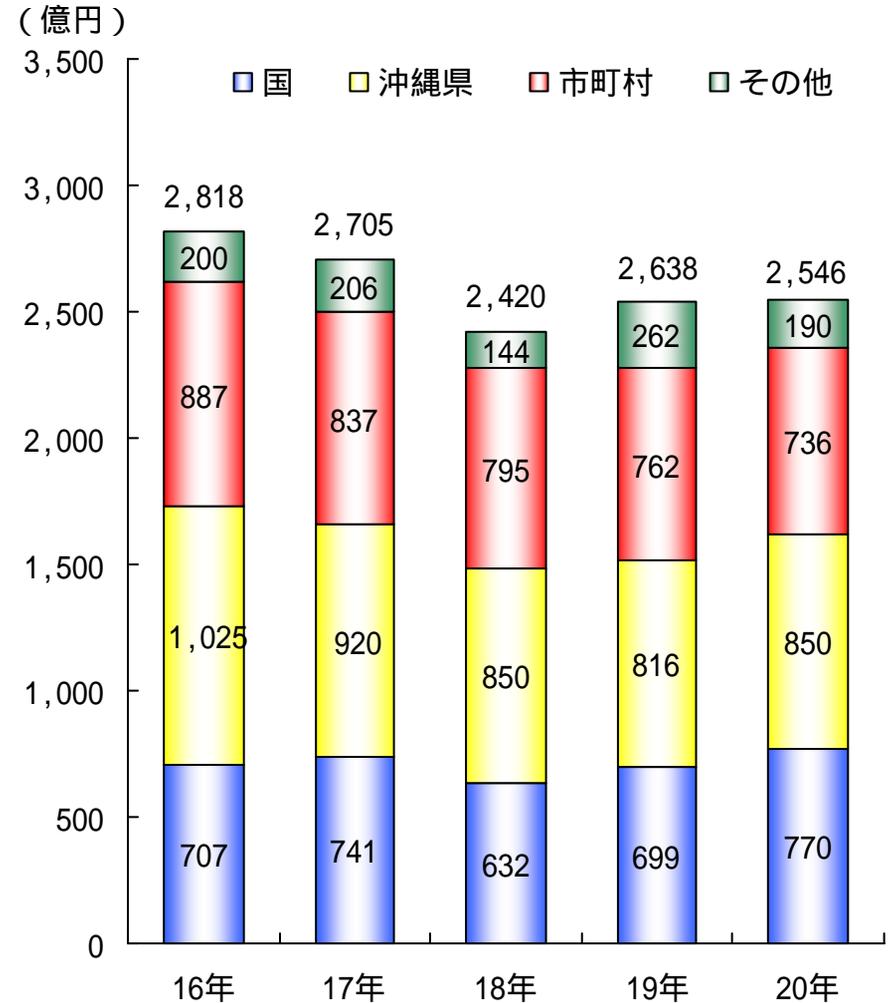


新設住宅着工戸数は改正建築基準法施行の反動で増加

新設住宅着工戸数の推移



公共工事請負額の推移



21年3月期決算概況

コア業務純益はほぼ前期並の水準を確保

	20年3月期	21年3月期	20年3月期比	(億円)
業 務 粗 利 益	299	286	- 13	
うち預貸金収支	244	249	+ 5	
うち有価証券利息配当金	23	23	0	
うち役務取引等利益	26	21	- 5	
うち国債等債券損益	0	- 12	- 12	
経 費	210	212	+ 2	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	88	74	- 14	
コア業務純益	87	86	- 1	

(備考) 1. 「コア業務純益」 = 「一般貸倒引当金繰入前業務純益」 - 「国債等債券損益(5勘定戻)」

21年3月期決算概況

貸出資産健全化の進展により与信費用が減少し当期純利益増加

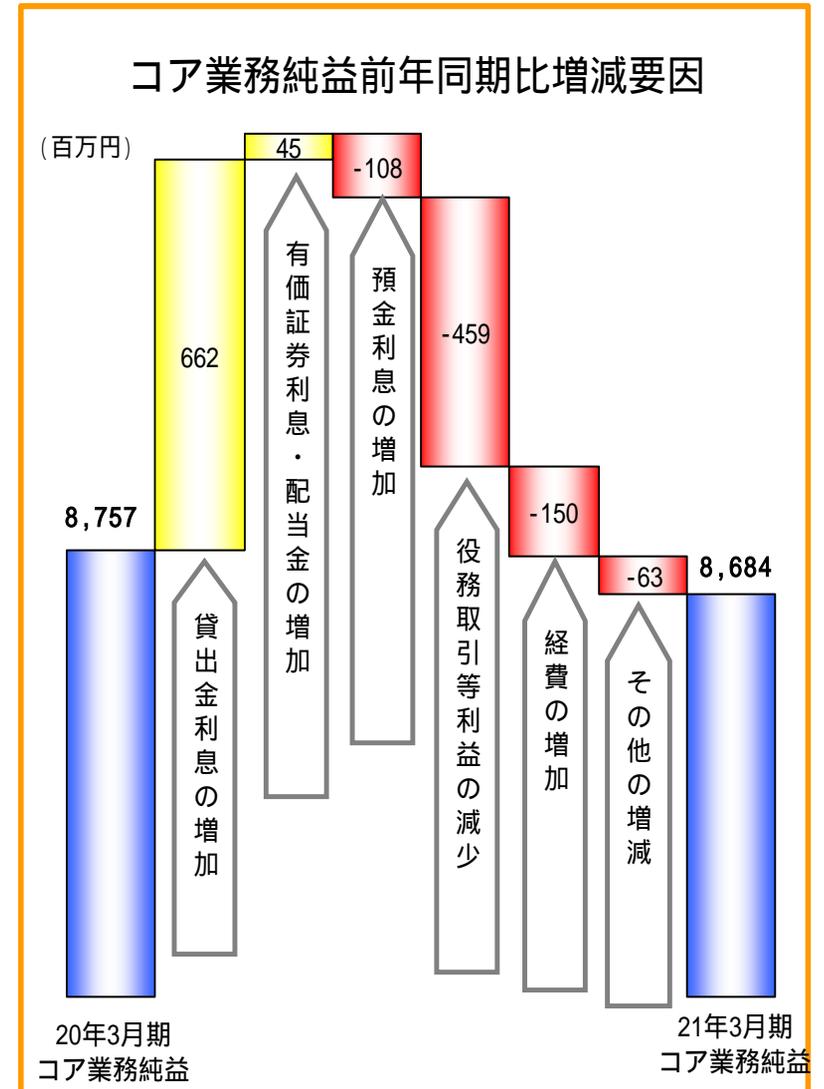
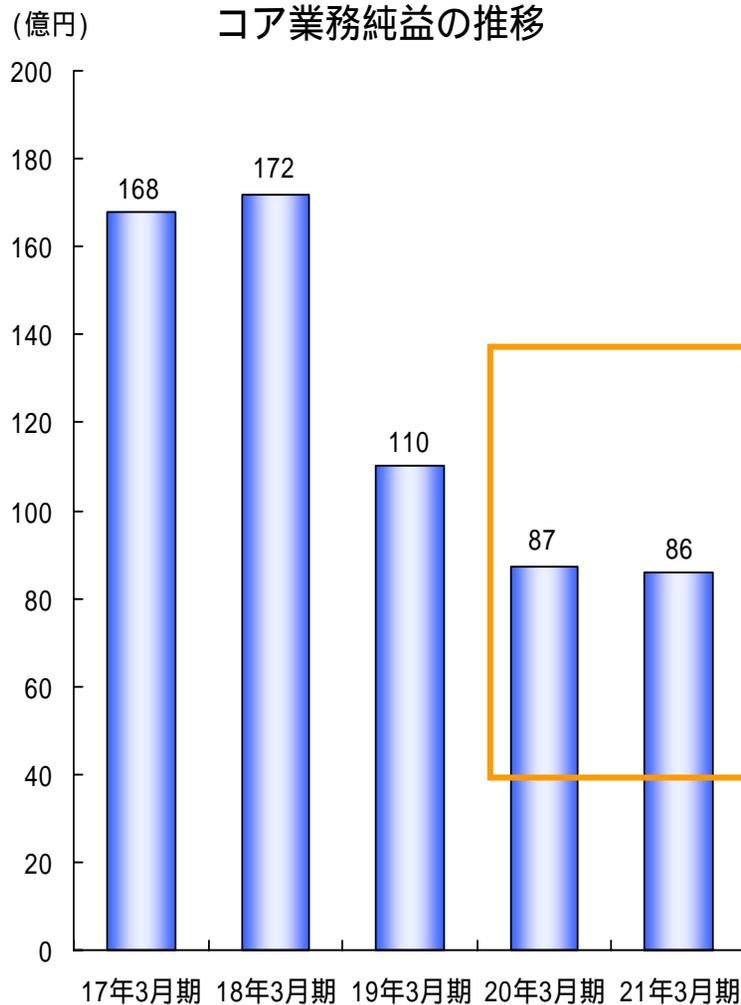
	20年3月期	21年3月期	20年3月期比	(億円)
コア業務純益	87	86	- 1	
貸倒引当金繰入額	47	0	- 47	
貸出金償却等	13	36	+ 23	
有価証券関係損益	- 4	- 38	- 34	
経常利益	29	13	- 16	
貸倒引当金戻入益	0	33	+ 33	
償却債権取立益	5	8	+ 3	
当期純利益	13	33	+ 20	
不良債権処理額 (+ -)	60	3	- 57	
与信費用 (+ - -)	55	- 4	- 59	

(備考) 1. 「貸倒引当金繰入額」「貸倒引当金戻入益」はそれぞれ一般貸倒引当金・個別貸倒引当金の合計。

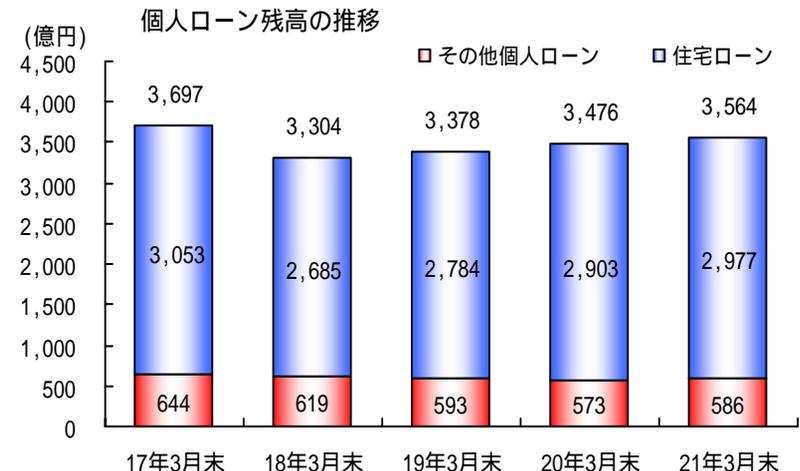
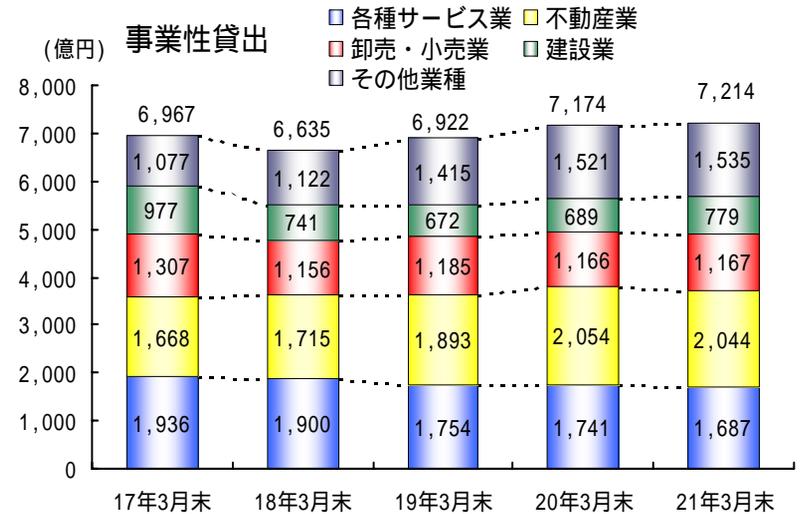
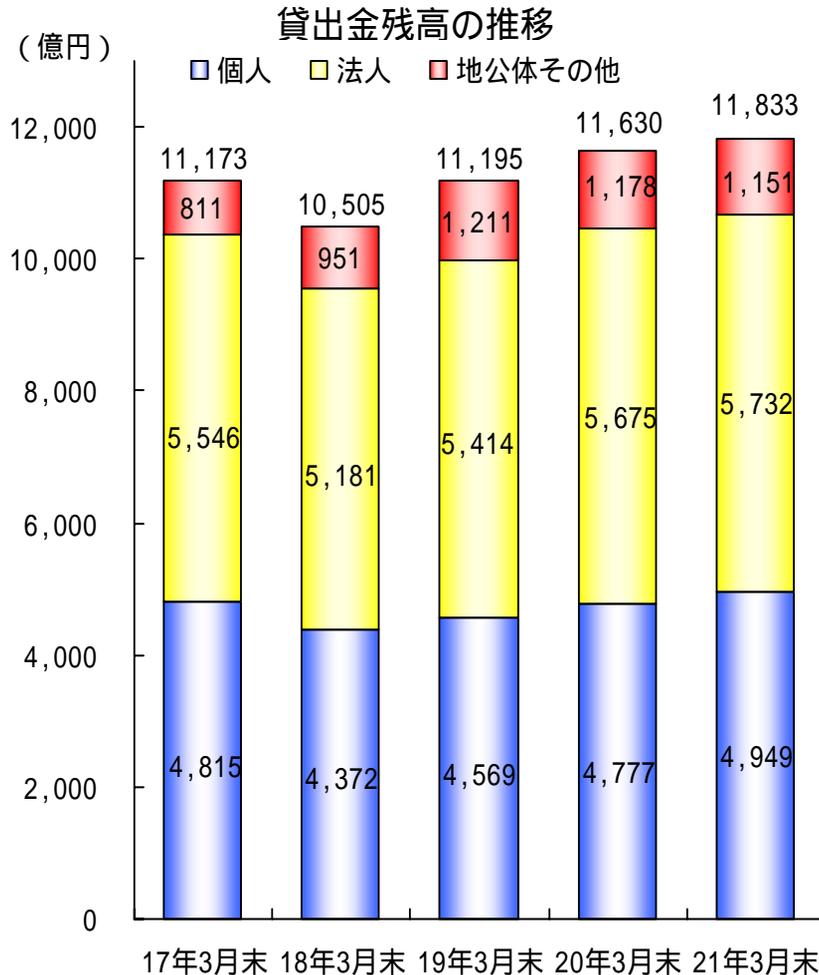
2. 「有価証券関係損益」は、債券関係損益(5勘定戻)と株式関係損益(3勘定戻)の合計。

コア業務純益

貸出金利息は増加。役務取引等利益の減少等でほぼ横ばい



法人向け・個人向けともに前年比増加



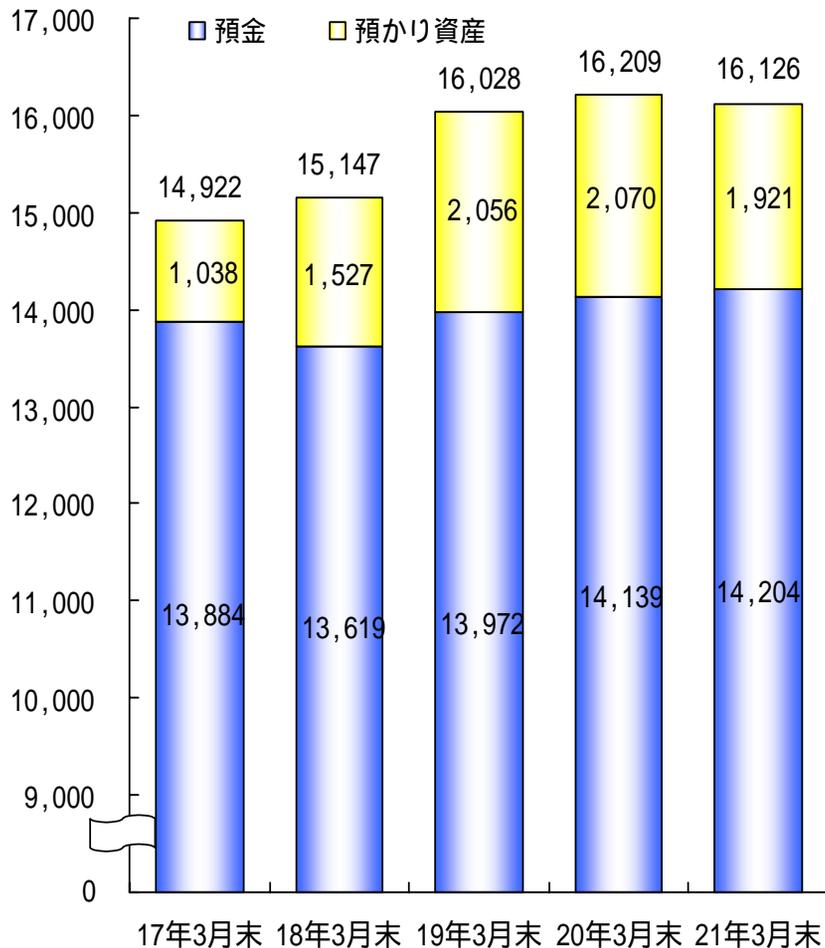
(備考) 個人事業性貸出の取り扱いが異なることなどから、右グラフ上下の合計と左グラフは一致しない。

	17年3月末	18年3月末	19年3月末	20年3月末	21年3月末
証券化による影響	263	760	666	575	494

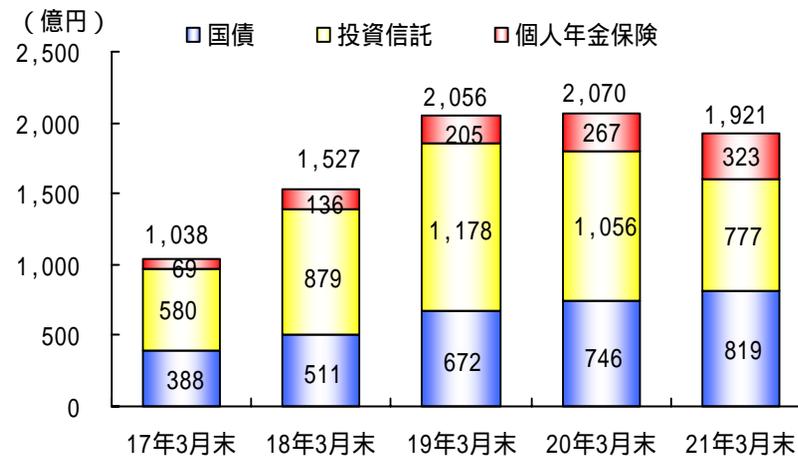
預金・預かり資産

預金は増加基調を継続、投資信託は減少

(億円) 預金と預かり資産の合計残高の推移

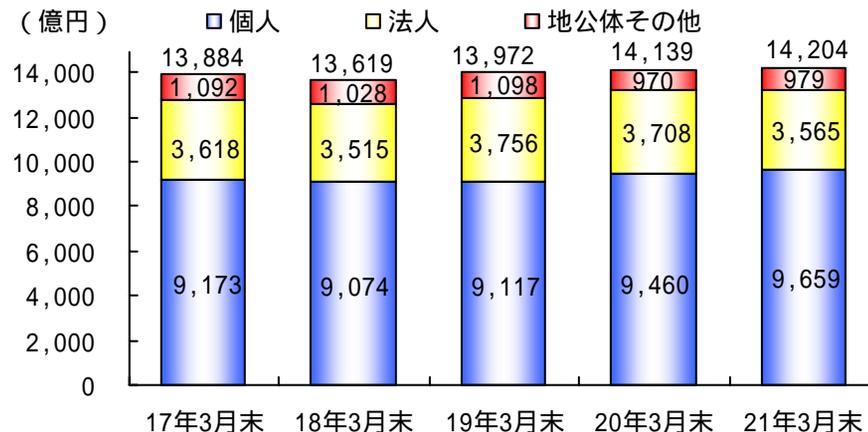


預かり資産残高の推移



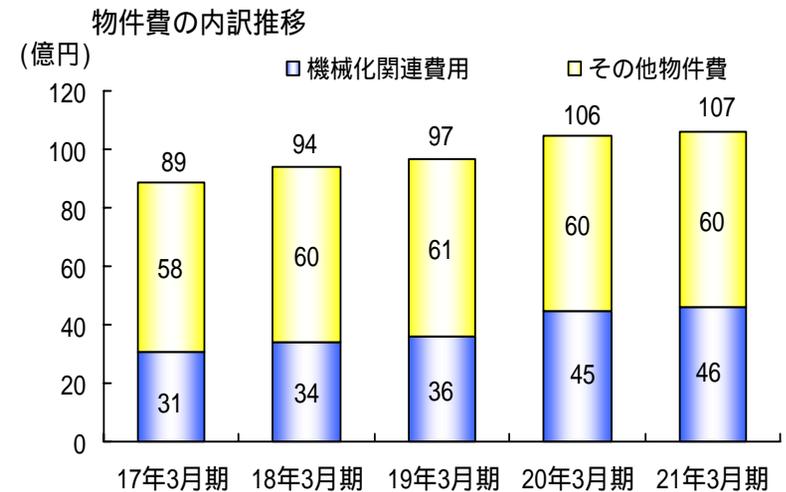
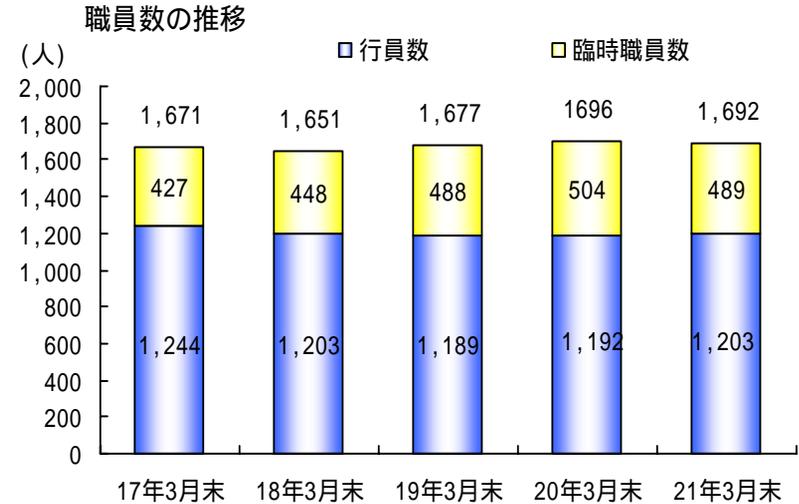
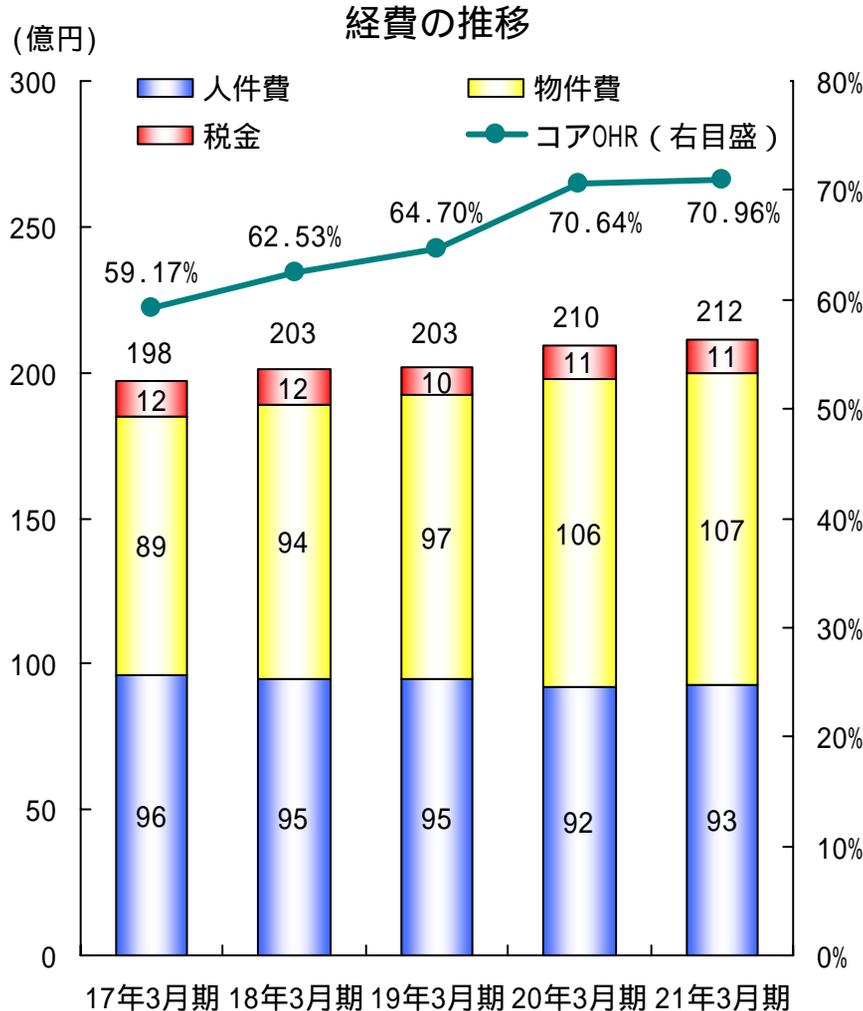
(備考) 個人年金保険は契約額の累計。

預金残高の推移



(備考) 預かり資産は、投資信託・個人年金保険(契約額累計)・国債の合計。

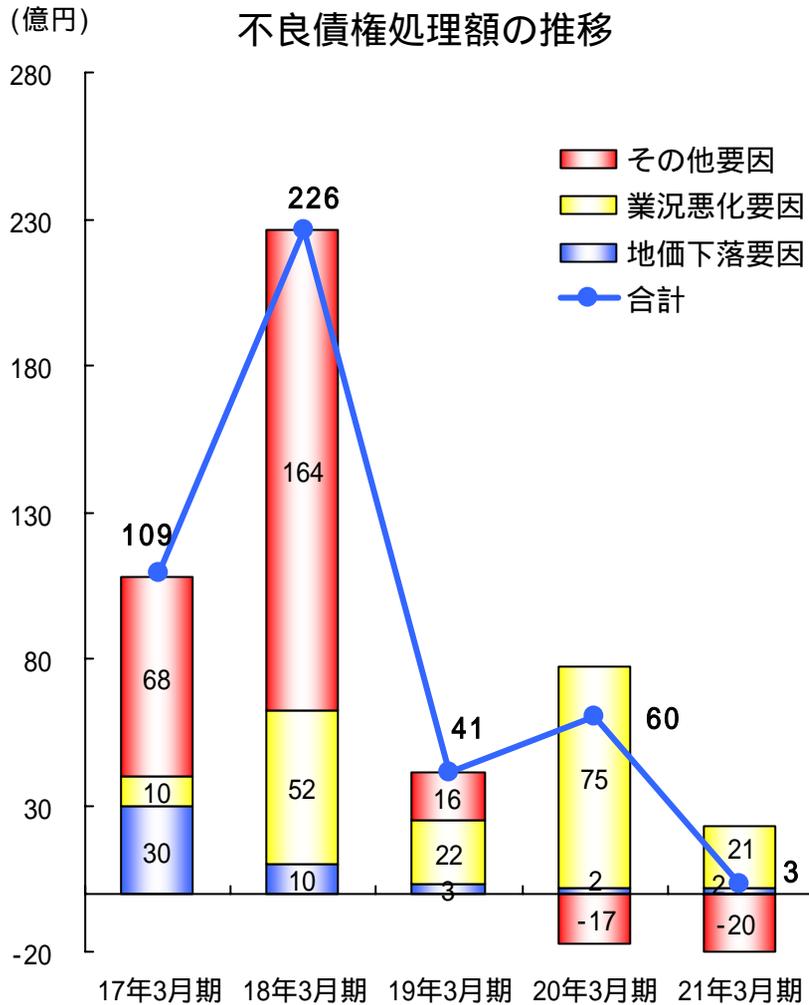
IT関連投資や店舗新設費用の増加等により微増



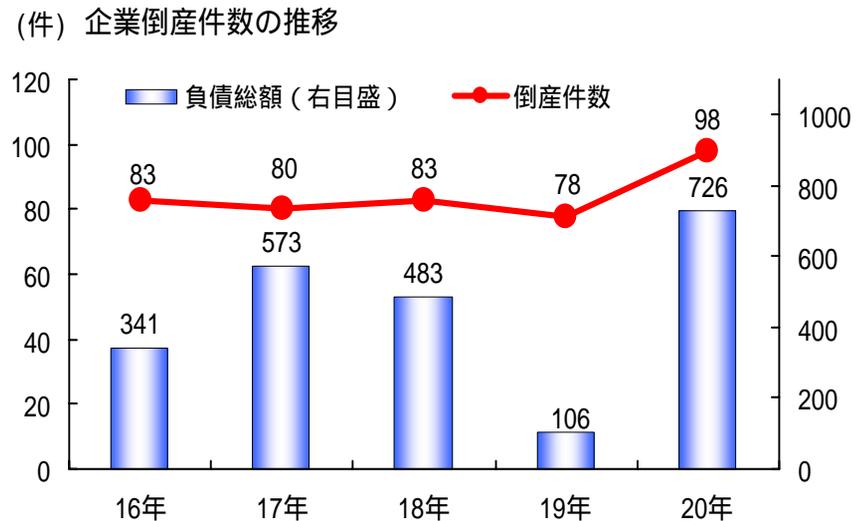
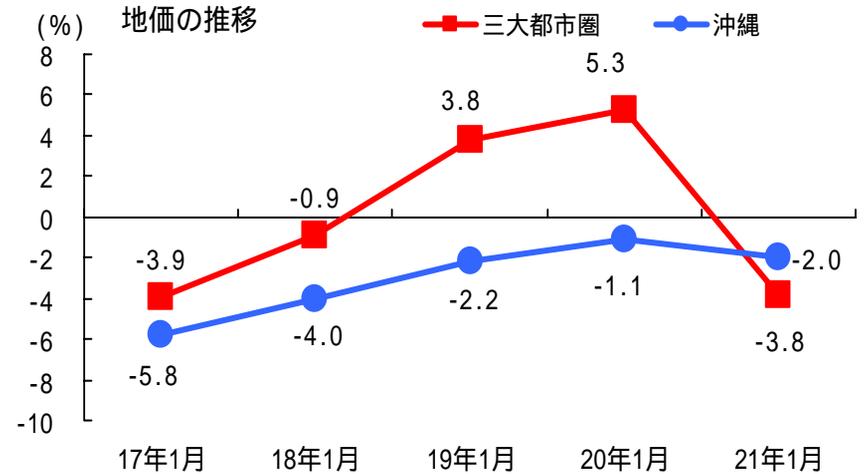
(備考) 「コアOHR」 = 「経費」 ÷ 「コア業務粗利益 (証券化益を除く)」

不良債権処理額

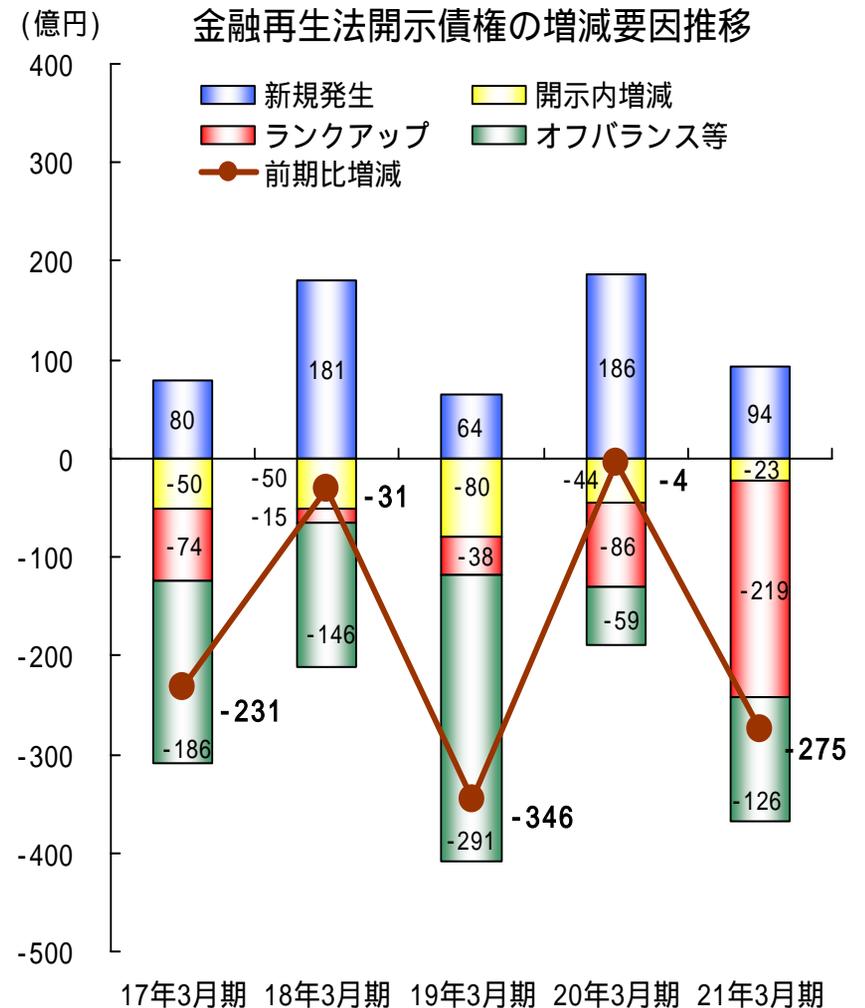
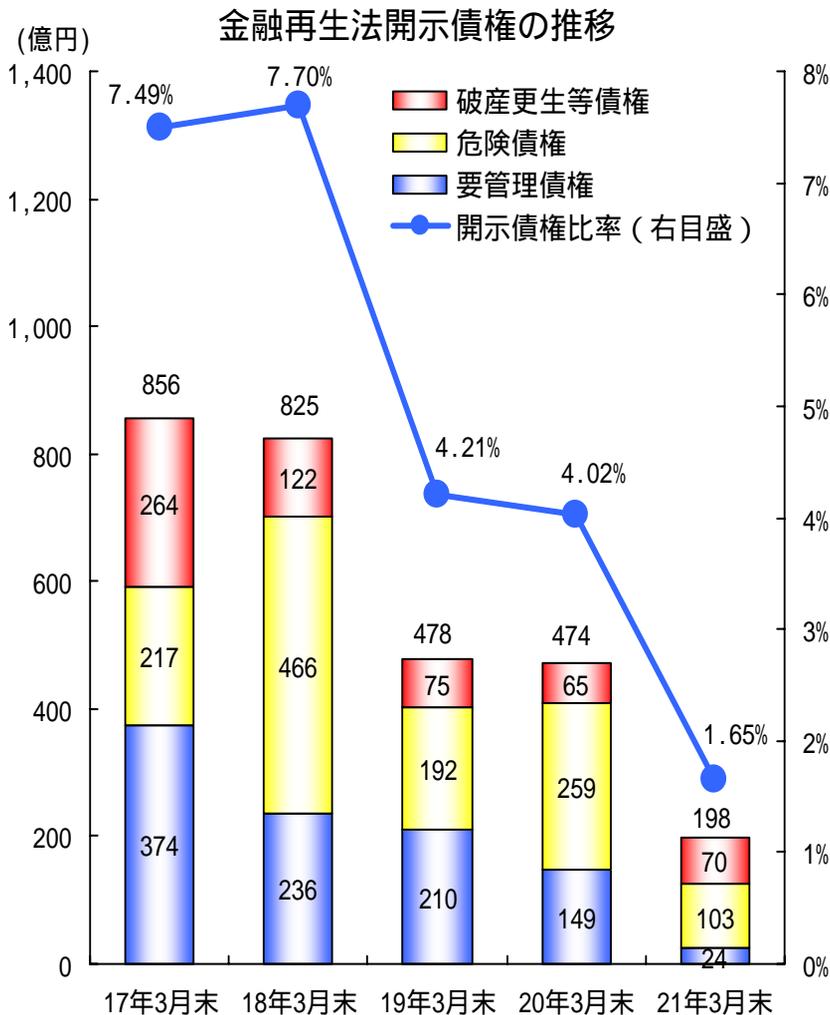
貸出資産の健全化が進展し低水準に収まる



(備考) 「不良債権処理額」は、償却債権取立益控除前の与信費用。

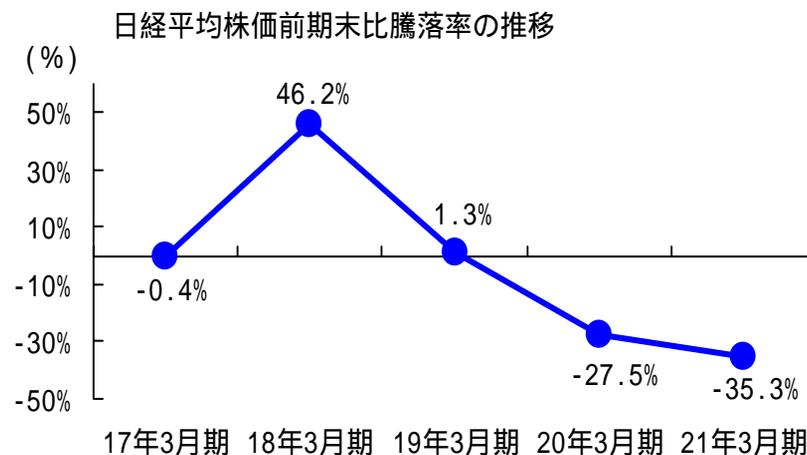
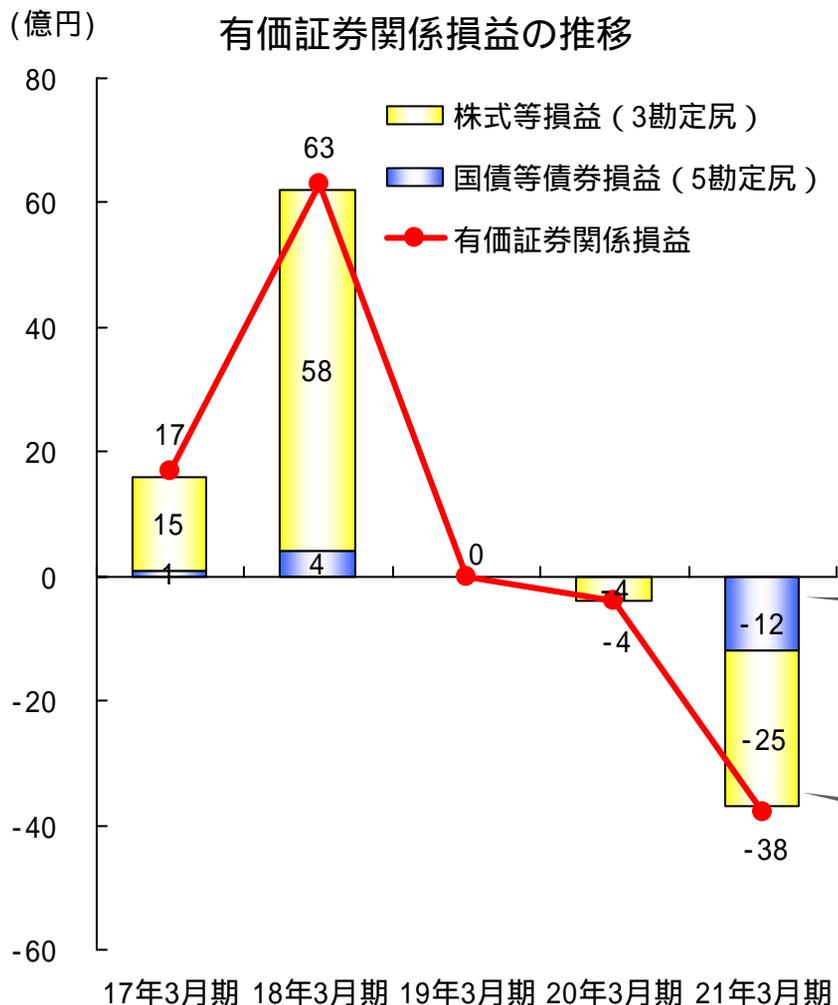


債務者区分の良化を主因に大幅減少



有価証券関係損益

株式市況の悪化等に伴い有価証券の減損処理を実施



国債等債券損益： 12億円

リーマンブラザーズ社債減損： 9億円

投資信託実現損： 4億円 ほか

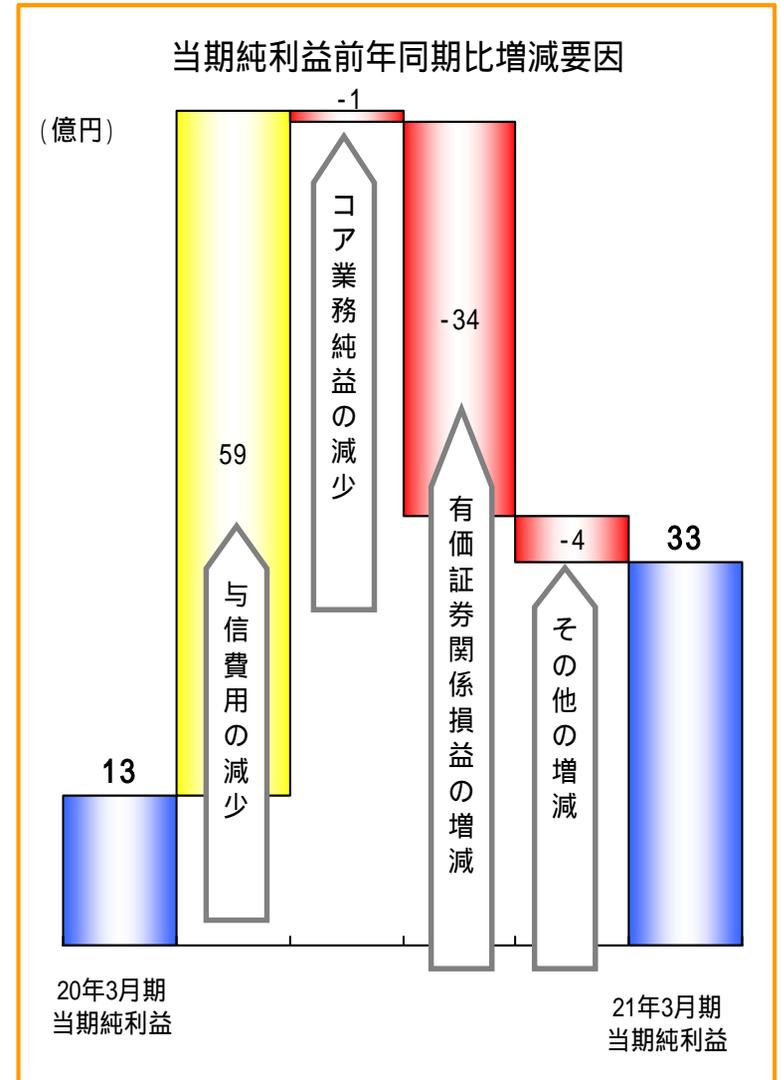
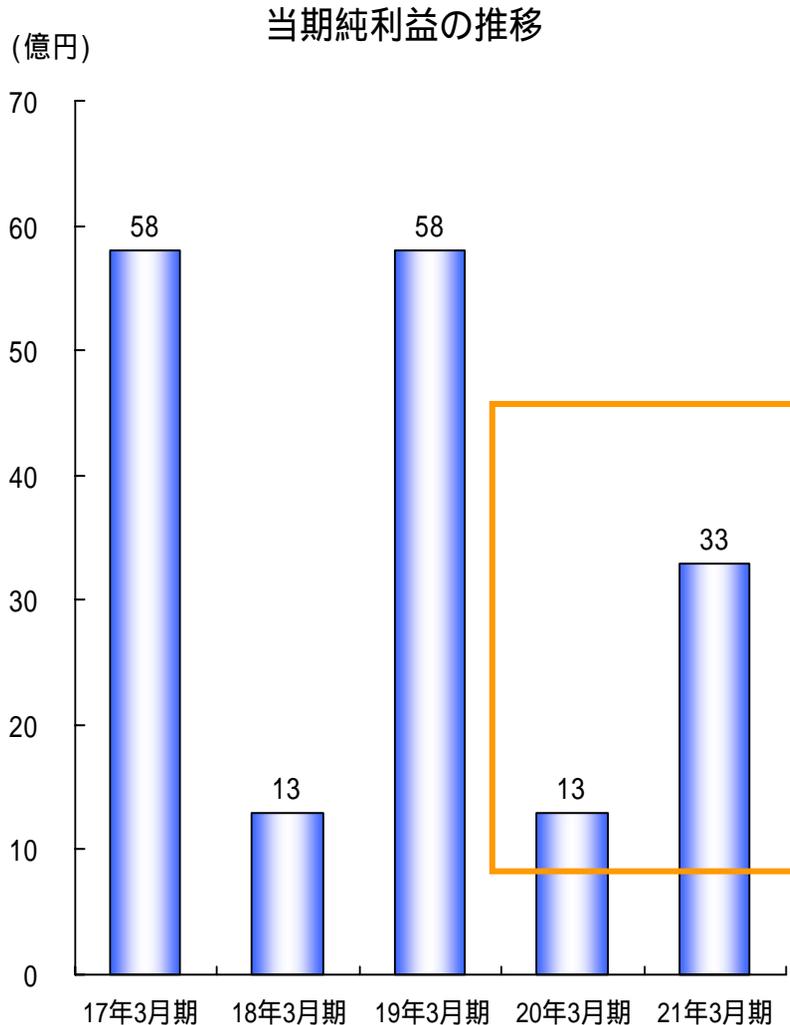
株式等損益： 25億円

上場株式減損： 16億円

ETF減損等： 9億円

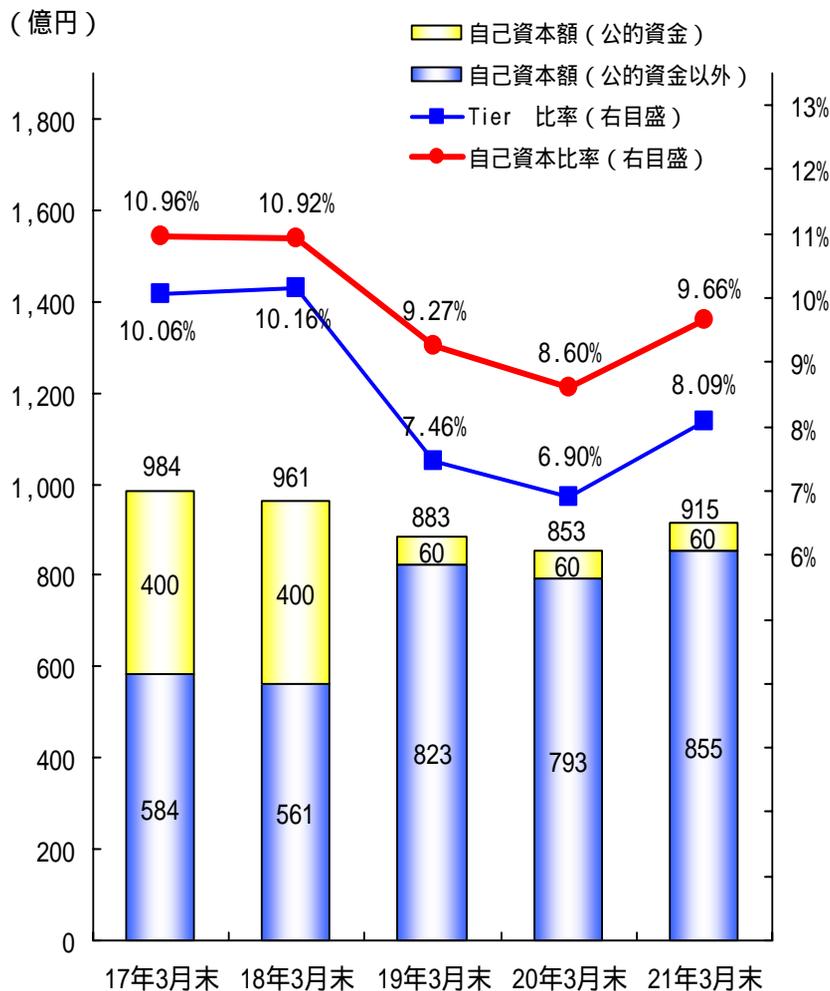
当期純利益

与信費用の減少により増益



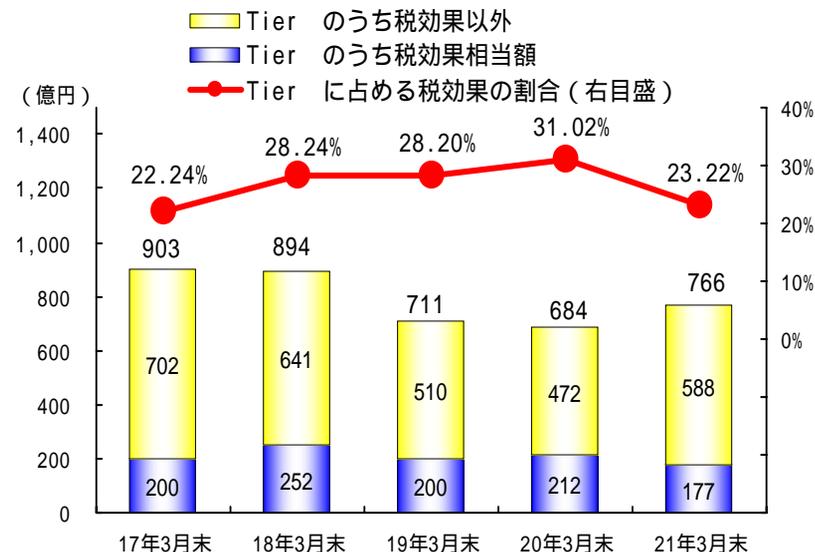
利益の積み上げ等により上昇

自己資本比率の推移



(備考) 19年3月末に自己資本比率算定に係る制度 (BIS基準) が変更された。

税効果依存度の推移



- 公的資金優先株式の状況 -

当初発行総額	400億円
一部返済額(時価)	340億円(405億円)
一部返済日	H18.10.11
現在残高	60億円
現在の転換価額	1,150円
一斉転換日	H22.10.1

22年3月期業績の見通し

当期純利益は前期並みを見込む

(単位：億円)

	21年3月期 実績	22年3月期 予想	21年3月期比
経常収益	398	390	- 8
コア業務純益	86	86	0
経常利益	13	51	+ 38
当期純利益	33	35	+ 2
開示債権比率	1.65%	1%台	

中期経営目標：「課題解決機能を発揮して成長する新たなビジネスモデルの確立」

～ 新たな成長戦略の展開～

計画期間：平成19年4月～22年3月

基本戦略

問題解決型金融機能の強化

地域の企業や個人の課題を発見し、解決することで県内の預貸シェアを高め、県内リーディングバンクとしての地位を不動のものとしします。さらに、役務収益の増強を図り、安定した収益構造を確立します。

新しい銀行イメージの構築

従来固定的であった銀行業のスタイルを新しい視点で見直し、新しい銀行イメージをお客様のみならず、行員に対しても浸透させていきます。

持続的成長を支える経営体制の構築

資本効率を高め、企業価値の向上を図るとともに、実効性の高い法令等遵守態勢の確立、地域社会・環境などに配慮する社会的責任経営に取り組みます。

主要施策

預貸取引の開拓・深耕による顧客基盤の拡大

新金融サービスの拡大・強化

チャネル戦略の新展開

伝統的業務プロセスの再構築

選ばれる銀行ブランドの確立

働きがいのある人事制度の構築

統合的リスク管理態勢の構築

市場運用力の強化

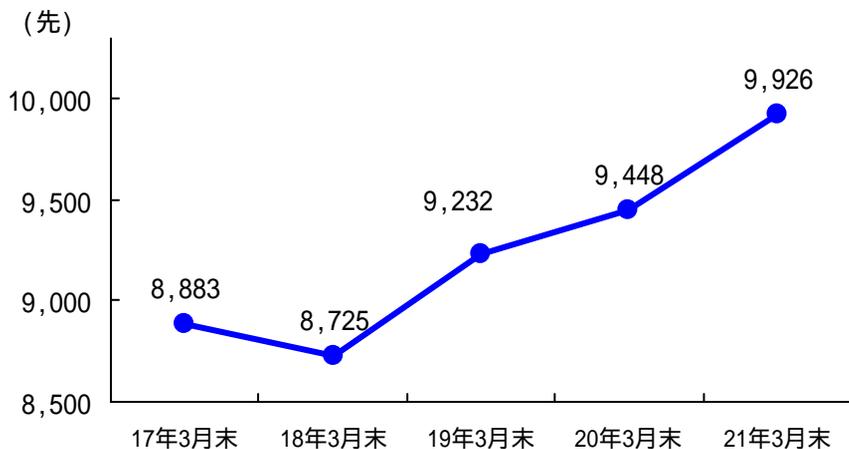
法令等遵守体制の強化

企業の社会的責任への取り組み

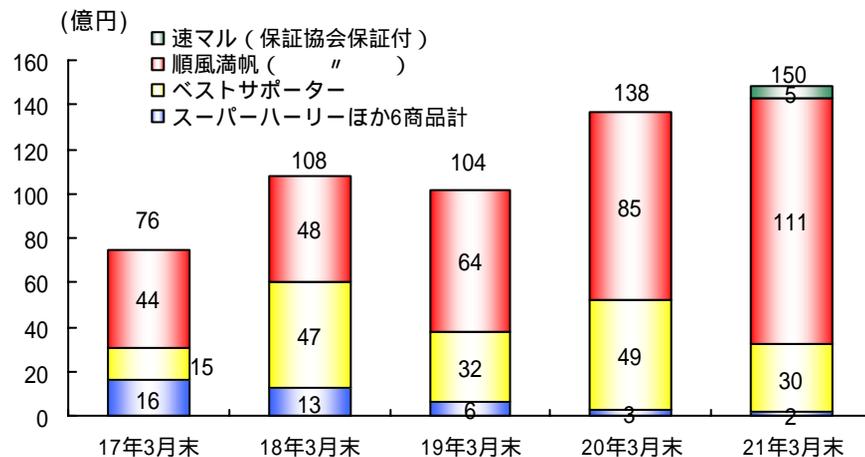
主要施策 “顧客基盤の一層の拡大”

多様なニーズに応え、顧客基盤の一層の拡大に取り組みます。

事業性融資先数の推移



事業性自動審査等融資残高の推移



新たな手法によるご融資への取り組み

クレーンを担保にしたご融資（動産担保融資）の事例



中小企業のみなさまにスピーディーなご融資対応



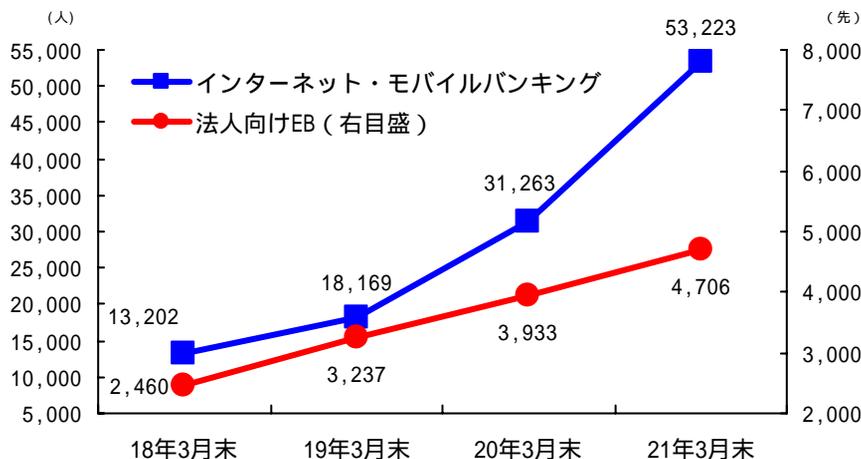
第三者保証人不要
 スピード回答!



主要施策 “ 顧客基盤の一層の拡大 ”

インターネットの活用などにより、便利なサービス・機能を充実させます。

インターネットバンキング会員数が増加



インターネットでのお取引が充実

あなたのニーズにあった商品を提案!

ローンガイド

MyLife Loan Guide

お申込みの流れ

- 1 電話・インターネット・FAX・店舗・窓口でのお申込み
- 2 電話にて仮審査結果のお知らせ
- 3 窓口にて正式申込みへのご記入・ご捺印
- 4 審査応諾後、ご融資

銀行

インターネット投資信託

pay-easy

りゅうぎん外為web

創立60周年記念商品の発売



多様な住宅ローンニーズに対応

- 16年 3月 働く女性の住宅ローン “Anju” 発売
- 17年10月 “エコハウス住宅ローン” 発売
- 18年 7月 移住者向け “セカンドステージローン” 発売
- 18年10月 サポート8(3大疾病+5つの慢性疾患保障) 取扱開始

20年1月 「住宅ローンアドバイザー」資格試験
「最優秀団体賞」受賞

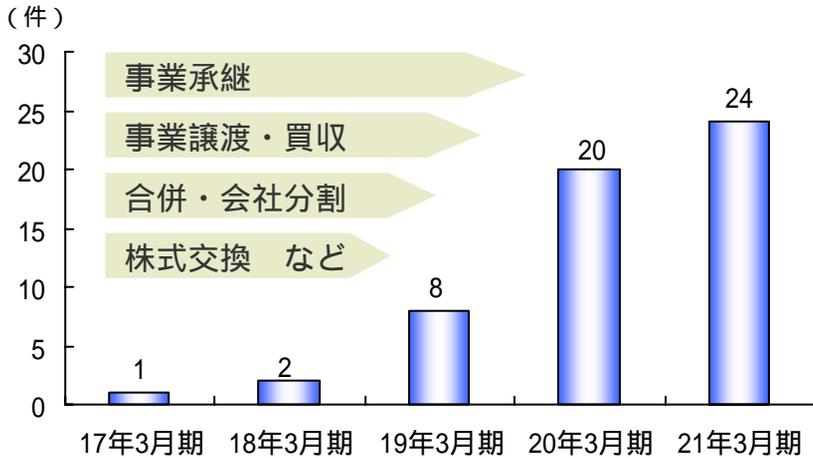
- 20年 3月 証券化型住宅ローン発売
- 20年 4月 長期固定金利型商品発売

- 20年 5月 地銀住宅ローン共同研究会に参加
- 20年10月 新特典「Club Off for Anju」提供開始
- 20年12月 新特典「Club Off for ハッピーエブリデイ」開始

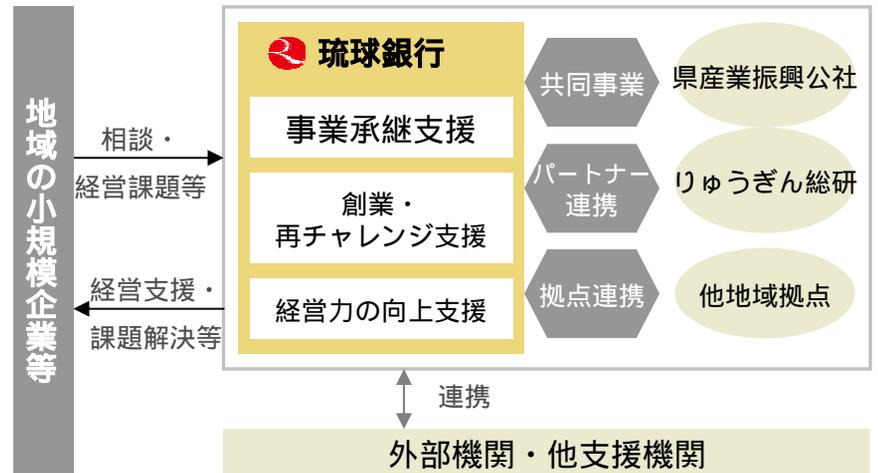
主要施策 “新金融サービスの拡大・強化”

問題解決型金融サービスを提供し、お取引先企業とともに成長します。

M&A、コンサルティング等契約受託件数

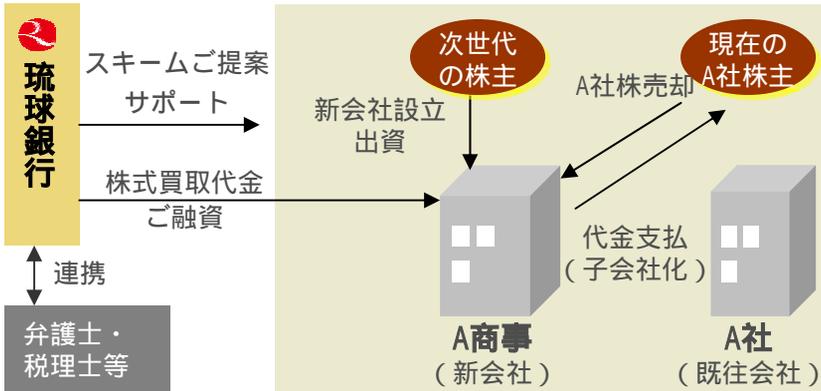


20年5月「地域力連携拠点」に選定される



事業承継アドバイザー

組織再編を活用した事業承継対策スキーム例



地域密着型金融の優れた事例として県内唯一の顕彰



地域密着型金融として特に先進的な取組み等を行なっている地域金融機関を年1回顕彰するもの

「地域密着型金融に関するシンポジウムin沖縄」において、沖縄総合事務局から顕彰される (H21.2.4)



主要施策 “チャンネル革命”

身近な店舗で、高度で安心なサービスをご提供します。

営業力強化のためのチャンネル革命

目的

営業力の強化を図るため、効果的な営業体制の構築と、顧客利便性向上による競争力強化に資するチャンネル戦略を実行する

計画期間

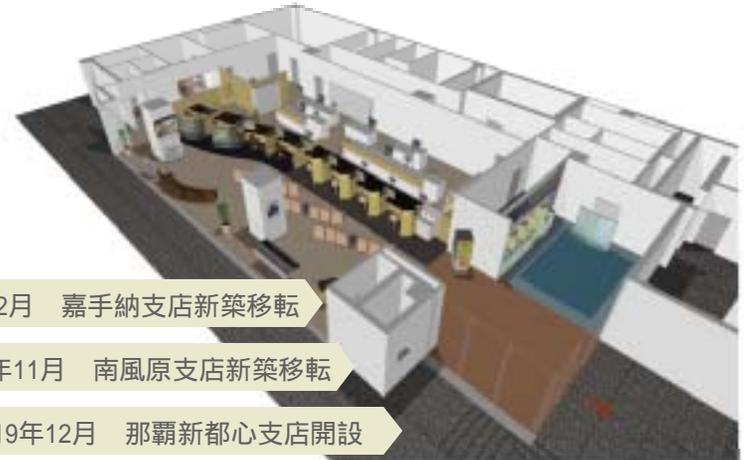
平成21年～22年

主な内容

- ・ブロック制度の導入
- ・店舗開設
- ・営業要員・融資要員の追加配置
- ・ダイレクト・チャンネルの強化 など



相談スペースを充実させた店舗レイアウトの展開



18年12月 嘉手納支店新築移転

19年11月 南風原支店新築移転

19年12月 那覇新都心支店開設

住宅ローン相談カー「ハローバンク1号」の導入



ハローバンク1号

お客様のところに出向き店舗同様の相談サービスをご提供します。

車両内に相談カウンターを設置してゆっくりご相談いただける仕様となっています。

余剰空間を活用した新サービスの提供

貸金庫設置店舗

松尾支店、石嶺支店、那覇ポート出張所、商業団地支店
 コザ支店、普天間支店、名護支店、与那原支店
 宮古支店、八重山支店、南風原支店、那覇新都心支店



本資料に係るお問い合わせ先

株式会社 琉球銀行 総合企画部

Tel : 098-860-3787

Fax : 098-862-3672

e-mail : ryugin@ryugin.co.jp

本資料は、お断りのない限り単体ベースのデータとなっています。

本資料は、公表データの作成要領に基づき、項目ごとに単位未満切捨てで表示しているため、項目ごとの値と合計とが合わない場合があります。また、前期比等の増減値は表上の値から算出し、増減率等の比率は原数値により算出した値を四捨五入で表示しております。

本資料には、当行に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する情報（将来情報）が含まれています。これら将来情報は、あくまで平成21年5月14日現在において入手可能な情報に基づいて判断されたものであり、将来の業績等を保証するものではありません。また、将来情報の記述には一定の前提・仮定を使用しておりますが、かかる前提・仮定は客観的には不正確であったり、将来実現しない可能性があります。その原因となるリスクや不確実性には様々なものが含まれますが、その詳細については当行の決算短信や有価証券報告書等をご参照ください。なお、当行は本資料に含まれる将来情報の更新はいたしません。